



令和 6 年 10 月 28 日

## 「JAバンク埼玉県信連の森づくり」活動の実施について

埼玉県信用農業協同組合連合会（以下、「当会」という）では、環境問題をはじめとする社会的課題の解決に向け、自らの事業・活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献する取組指針として「サステナブル経営ポリシー」を制定しております。当会は、その具体策として様々な地域貢献活動を実践しております。

当会は活動の一環として、令和 6 年 10 月 19 日（土）皆野町蓑山地区にて役職員ボランティアによる森林の間伐作業を実施しました。これは埼玉県並びに埼玉県農林公社との「埼玉県森林づくり協定」に基づく活動であり、今年で 13 回目の実施となりました。

当日は、当会役職員 35 名と県・農林公社の指導員を含め総勢 41 名で間伐作業を行い、木の伐倒やロープを使っの引き倒し等、約 2 時間の作業に汗を流しました。参加者からは「農林水産業に関わる金融機関職員として貴重な経験となった」等の声があり、県民共有の財産である森林を守り育てる活動を肌で感じる一日となりました。

当会は「埼玉県森林づくり協定」に基づき、皆野町蓑山地区内の公社営林を「JAバンクの森」と称し、森林整備活動はじめとする森林づくり活動に取組んでいます。



開会のあいさつを行う黒澤理事長



荒岡労働組合委員長からあいさつ



指導員のアドバイスで間伐するヒノキにのこぎりを入れています。慣れない作業で、中々うまくいきません・・・



ロープを使って木を引き倒します



倒した木は最後に枝打ち・玉切り作業を行い完了

また、今回の活動は令和7年春に開催される「第75回全国植樹祭」の応援事業として承認されました。本県で66年ぶりの開催に向け機運醸成を図る取組みのひとつとなり、県内の森林保護の一助となる活動でした。



皆さん、作業大変お疲れ様でした！

当会は引き続き「サステナブル経営ポリシー」に基づき、継続的な森林保全事業をはじめとする地域貢献活動を積極的に実践し、持続可能な地域社会の実現に向けて貢献してまいります。